

①

創作童話

『どんぐりコロコロ、お山はおおさわぎ』

♪ どんぐりコロコロ　どんぶりこ
おいけにはまって　さあたいへん
どじょうが出てきて　こんにちは
ぼっちゃんいっしょに　あそびましょう

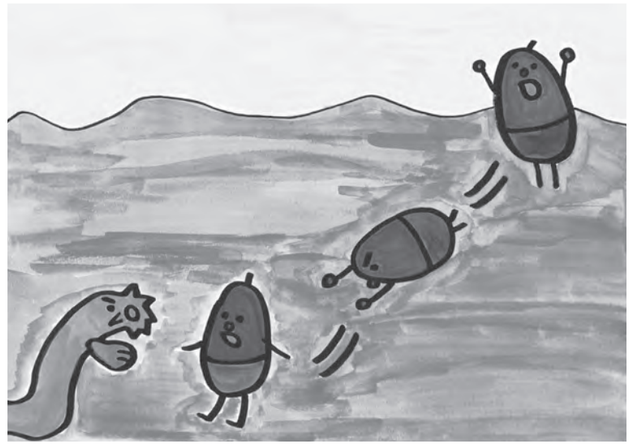
どんぐりコロコロ　よろこんで
しばらくいっしょに　あそんだが
やっぱり　おやまが　こいしいと
ないては　ドジョウを　こまらせた

（作詞　青木存義　　作曲　梁田貞）

どんぐりは、このあと、どうなったのでしょうか。

特定非営利活動法人　センスオブアース・市民による自然共生パンゲア
address：〒174-0063　東京都板橋区前野町４－８－６
tel & fax：03-3960-6052　　e-mail：info@npo-soe.jp

この紙芝居は、東京ガス環境おうえん基金の助成金を受けて作成しました。



②

このどんぐりの　名前は　コタロウ。
コタロウは、　もぐりの　じょうずな　ドジョウに
教えられ、　もぐったり　あがったり　しました。
そして、　くるしいことも　のりこえる　力が
つきました。

でも、　やっぱり　父さん母さんや　友達がいる
お山に　帰りたくなりました。

（おじさん）「みんなが　待っている　お山に
おかえりよ。　いつでも、　また　遊びにおいで。」
（コタロウ）「おじさん、　ドジョウは　強いんだね。
ぼくも、　もう　なかないからね。　ありがとう。」

特定非営利活動法人　センスオブアース・市民による自然共生パンゲア
この紙芝居は、東京ガス環境おうえん基金の助成金を受けて作成しました。



③

コタロウが、池から出てみると、周りの森の木がたくさんなぎ倒されていました。村の人たちが、困った顔をして、しゃがみ込んでいます。

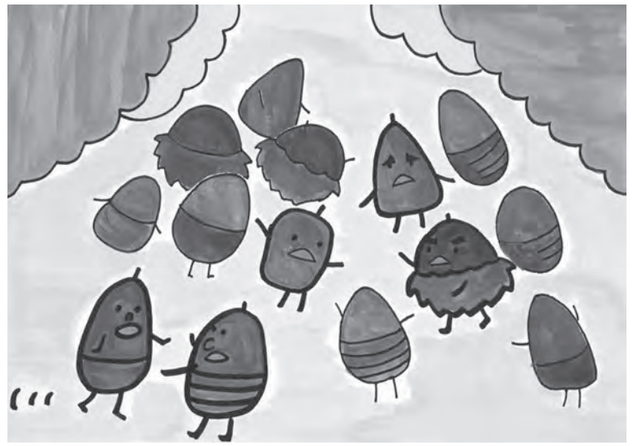
「あらしに　やられてしまった。」

コタロウが、たおれた木のあいだをのぼっていくと、

お山の上が、とても　さわがしいのです。

特定非営利活動法人　センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

この紙芝居は、東京ガス環境おうえん基金の助成金を受けて作成しました。



④

広場には、どんぐりの　仲間が　たくさん
集まっていて、みんな　何か　言い合っています。

コタロウは、仲間の　どんぐりに　そっと
聞きました。

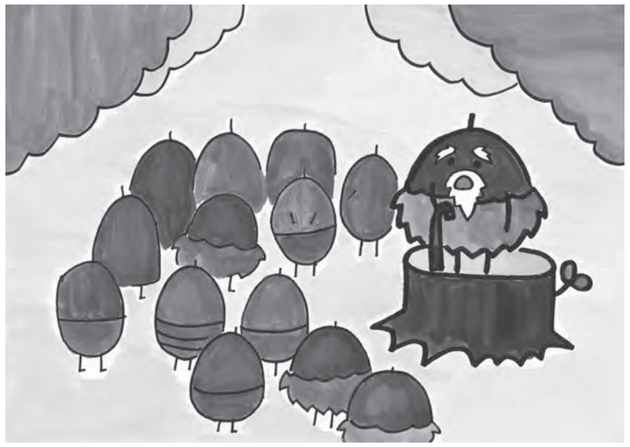
（コタロウ）「なにか　あったの？」

（ともだち）「この山の木を　切って、町を
つくるんだって。　どんぐりの木は、たくさん
残せないんだって。コナラや　シラカシは、毎年
実をつけるから、どこでも　生きていけるって。」

コタロウは、大変だと　思いました。
やっと戻った　お山なのに。

特定非営利活動法人　センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

この紙芝居は、東京ガス環境おうえん基金の助成金を受けて作成しました。



⑤

クヌギの　村長は、　きびしい　声で　言いました。
（村長）「わしたち、　クヌギは　2回
春が来ないと　実がならない。
育つまで　大変だ。
コナラは　すぐ実がつく。
これから　どうするか、　明日までに
良い考えを　出すように。」

コタロウたちは、　体中から　力が　抜けて
いきました。

特定非営利活動法人　センスオブアース・市民による自然共生パンゲア
この紙芝居は、東京ガス環境おうえん基金の助成金を受けて作成しました。



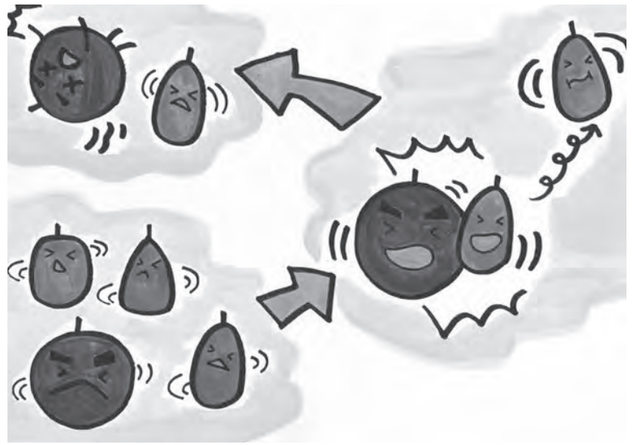
⑥

つぎの日、お山の広場に、もっとたくさんの
どんぐりたちが集まりました。
クヌギの村長は、
（村長）「どうだ？　良い考えを思いついたか？」

そのとき、コタロウが手をあげました。
（コタロウ）「村長さん、ぶつかりっこの代表
どんぐりごま大会を やってください。
勝った方が、山に残るか 残らないかを
自分で決めていい というのは、どんぐりの
（村長）「う〜ん、どんぐりごまは、クヌギには
自慢じゃし、良い考えだが・・・
ぶつかりっこしたら、体の大きな
勝てないぞ。それでいいなら やってみよう。」

特定非営利活動法人　センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

この紙芝居は、東京ガス環境おうえん基金の助成金を受けて作成しました。

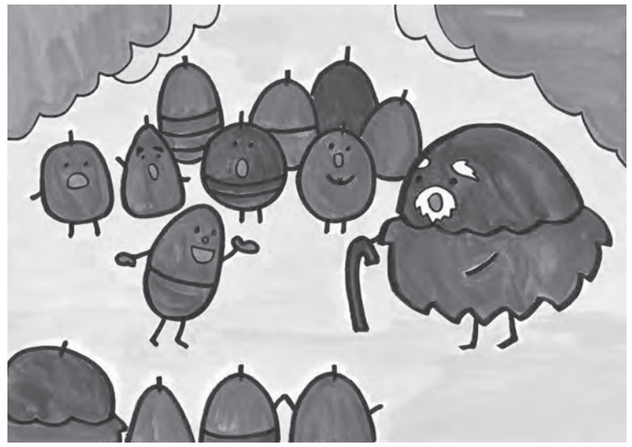


⑦

どんぐりたちは　いっせいに　まわり始めました。
丸々とした　クヌギたちは、　細い体なので、
コロロン　コロロンと　まわります。
コナラの　代表の　コタロウは、
はじめから　スピードを　出して
コロロロローと　まわりました。
ところが、クヌギの方へ、いきおいよく
カーブして　ガチーンと　ぶつかってしまいました。
クヌギは　重いので、コタロウは　広場の
はしの方へ　飛ばされました。
しかし、必死で　まわっています。
そのうち　クヌギは　まわる力が弱くなり、
ユラユラ　し始めました。
ドジョウのおじさんに　きたえられた　コタロウは
力を　ふりしぼっています。
そして、ついに　クヌギが　コトトンと　止まり、
コタロウは　やっと　ひとまわりだけ
多くまわって　勝ちました。

特定非営利活動法人　センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

この紙芝居は、東京ガス環境おうえん基金の助成金を受けて作成しました。



⑧

コタロウは　立ち上がり、
（コタロウ）「ぼくたちが　勝ったので、
村長さんに　お願いです。
山の下の森は、あらしで　木が　みんな倒され、
村の人が　困っていました。　ぼくたちが
行きます。」

特定非営利活動法人　センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

この紙芝居は、東京ガス環境おうえん基金の助成金を受けて作成しました。



⑨

コナラ、ミズナラ、カシワの　どんぐりたちは、
村の森に　おりて、　土の中に　もぐりました。

何回も　春が来て、　コタロウたちは　大きくなり、
花を咲かせて　秋には　どんぐりが　なりました。

コロコロ　コロコロと　新しい実が
お池のそばまで　やってきて、　声をかけました。

特定非営利活動法人　センスオブアース・市民による自然共生パンゲア
この紙芝居は、東京ガス環境おうえん基金の助成金を受けて作成しました。



⑩

（ナラタロウ）「ぼく、　コタロウの　子どもの　ナラタロウです。ドジョウのおじさん、　遊びましょう。」

（おじさん）「村の　子どもたちが、　ナラタロウくんたちを　待っているよ。　みんな、　どんぐりが　大好きだからな。」

村の方から、　子どもたちの歌が　聞こえてきました。

♪　どんぐりコロコロ　どんぶりこ
お山は木の実で　いっぱいだ
どんぐりコロコロ　こままわし
みんなで仲良く　あそびましょう

ナラタロウたちは、　子どもたちに　向かって、　一斉に　どんぐりコロコロと、　ころがって　いきました。

特定非営利活動法人　センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

この紙芝居は、東京ガス環境おうえん基金の助成金を受けて作成しました。